

岩手県金融経済概況（平成 29 年 2 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復基調を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は底堅く推移している。設備投資は増加している。公共投資、住宅投資は、高水準で推移している。

生産は、横這い圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、改善している。

消費者物価（除く生鮮食品）は、22 ヶ月振りに前年を上回った。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 29 年 2 月）は、衣料品が不調のほか店舗改装の影響等もあって 3 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 $\Delta 8.1\%$ ）。

スーパー売上高（全店舗ベース；平成 29 年 1 月）は 4 ヶ月振りに前年を下回った（前年比 $\Delta 0.3\%$ ）。

新車登録・届出台数（登録車＋軽；平成 29 年 2 月）は、6 ヶ月連続で前年を上回った（前年比 $+5.1\%$ ）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（平成 29 年 2 月）は、3 ヶ月連続で前年を上回った（前年比 $+14.3\%$ ）。

新設住宅着工戸数（平成 29 年 1 月）は 3 ヶ月連続で前年を下回った（前年比 $\Delta 30.6\%$ ）。

—— 分譲が 2 ヶ月振りに前年を上回った（前年比 $+46.7\%$ ）ものの、持家が 2 ヶ月振りに前年を下回った（同 $\Delta 21.9\%$ ）ほか、貸家も 2 ヶ月連続で前年を下回った（同 $\Delta 47.2\%$ ）。

民間設備投資（短観ベース；平成 28 年度計画）は、全産業ベースで前年度を上回る計画となっている。

—— 平成 28 年度（計画）は、幅広い業種で新規出店等の能増投資、更新投資などが計画されており、全産業ベースで前年度を上回る（前年度比 +9.4%）計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（平成 29 年 1 月）は、高水準ながら 15 ヶ月連続で前年を下回った（前年比△9.6%）。

3. 生産動向

生産は、横這い圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数（季節調整値；平成 28 年 12 月）は、2 ヶ月振りに前月を下回った（前月比△4.5%）。

—— 12 月の動向を主要業種別にみると、窯業・土石製品、鉄鋼、印刷が上昇し、食料品、電子部品・デバイス、パルプ・紙・紙加工品が低下した。

なお、四半期の動きをみると、28/4～6 月に 5 四半期振りに前期比が増加に転じた（前期比+3.0%）ものの、7～9 月（同△0.9%）10～12 月（同△0.4%）は 2 期連続で減少した。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；平成 29 年 1 月）は、1.37 倍となった（平成 25 年 5 月以降 45 ヶ月連続で 1.00 倍以上を記録）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；平成 29 年 1 月）は、前年を上回った（前年比+0.7%；平成 24 年 3 月以降 59 ヶ月連続で増加）。

雇用者所得（県内合計値；平成 28 年 12 月）は、常用雇用指数が 8 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+0.5%）ものの、名目賃金指数が 5 ヶ月連続で前年を下回った（同△5.5%）ことから、2 ヶ月振りに前年を下回った（同△5.1%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）（平成 29 年 1 月）は、光熱・水道の下げ止まり、食料（除く生鮮食品）の上昇等を主因に 22 ヶ月振りに前年を上回った（前年比 +0.3%、前年並み<同±0.0%>となった 28 年 10 月以来では 3 ヶ月振り）。

6. 企業倒産

企業倒産（平成 29 年 2 月）は、1 件、0.7 億円（前年同月：2 件、1.4 億円）と落ち着いた動き。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（平成 29 年 1 月）はともに前年を下回った。また、貸出約定平均金利は、引き続き低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>